

# かしま 議会だより

## 第103号

令和2年9月議会号

令和2年11月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会  
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



浜駅に停車するJR九州の観光列車36ぷらす3。肥前浜駅には毎週月曜日の午後1時4分着で、54分間停車。その停車時間に合わせて、肥前浜駅では地元特産品などを販売する歓迎イベントが開かれています。

9月定例会	P2～P3
議案審議・討論	P4～P6
一般質問(12名)	P7～P12
決算審査特別委員会	P13
常任委員会活動報告(文教厚生産業委員会)	P14～P15
常任委員会活動報告(総務建設環境委員会)	P16～P17
要望書	P18
意見書	P19
議会あれこれ・編集後記	P20



- 令和2年 鹿島市議会  
9月定例会 会期日程
- 1、会期  
自 令和2年9月4日  
至 令和2年10月7日
- 2、日程
- 【9月】
- 4日 開会  
・会議録署名議員の指名  
・会期の決定  
・議案の一括上程  
・市長の提案理由説明
- 5日 休会
- 6日 休会
- 7日 休会 (議案研究)  
(一般質問  
発言内容通告締切)
- 8日 休会 (議案研究)
- 9日 休会 (議案研究)
- 10日 決算説明、委員会付託、議案審議、質疑、討論、採決
- 11日 議案審議、質疑、討論、採決
- 12日 休会
- 13日 休会
- 14日 休会 (議案研究)
- 15日 休会 (議案研究)
- 16日 休会 (議案研究)
- 17日 決算審査特別委員会 (開会、現地調査)
- 18日 決算審査特別委員会 (決算審査特別委員会)
- (一般会計／教育委員会、市民部、産業部ほか)
- 19日 休会
- 20日 休会
- 21日 休会
- 22日 休会
- 23日 休会 (議案研究)
- 24日 決算審査特別委員会 (決算審査特別委員会、一般会計／総務部ほか、建設環境部)
- 25日 決算審査特別委員会 (特別会計、水道事業、討論、採決)
- 26日 休会
- 27日 休会
- 28日 休会 (議案整理)
- 29日 一般質問 (3名)
- 30日 一般質問 (3名)
- 28日 休会 (議案整理)
- 【10月】
- 1日 休会 (議案整理)
- 2日 一般質問 (3名)
- 3日 休会
- 4日 休会
- 5日 一般質問 (3名)
- 6日 休会 (議案整理)
- 7日 委員会報告、議案審議、質疑、討論、採決、閉会

- 令和2年 鹿島市議会  
9月定例会 会期日程
- 1、会期  
自 令和2年9月4日  
至 令和2年10月7日
- 2、日程
- 【9月】
- 4日 開会  
・会議録署名議員の指名  
・会期の決定  
・議案の一括上程  
・市長の提案理由説明
- 5日 休会
- 6日 休会
- 7日 休会 (議案研究)  
(一般質問  
発言内容通告締切)
- 8日 休会 (議案研究)
- 9日 休会 (議案研究)
- 10日 決算説明、委員会付託、議案審議、質疑、討論、採決
- 11日 議案審議、質疑、討論、採決
- 12日 休会
- 13日 休会
- 14日 休会 (議案研究)
- 15日 休会 (議案研究)
- 16日 休会 (議案研究)
- 17日 決算審査特別委員会 (開会、現地調査)
- 18日 決算審査特別委員会 (決算審査特別委員会)
- (一般会計／教育委員会、市民部、産業部ほか)
- 19日 休会
- 20日 休会
- 21日 休会
- 22日 休会
- 23日 休会 (議案研究)
- 24日 決算審査特別委員会 (決算審査特別委員会、一般会計／総務部ほか、建設環境部)
- 25日 決算審査特別委員会 (特別会計、水道事業、討論、採決)
- 26日 休会
- 27日 休会
- 28日 休会 (議案整理)
- 29日 一般質問 (3名)
- 30日 一般質問 (3名)
- 28日 休会 (議案整理)
- 【10月】
- 1日 休会 (議案整理)
- 2日 一般質問 (3名)
- 3日 休会
- 4日 休会
- 5日 一般質問 (3名)
- 6日 休会 (議案整理)
- 7日 委員会報告、議案審議、質疑、討論、採決、閉会

# 次のことを審議し決定しました

【9月定例会】

議案番号	議案内容	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松尾勝利	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果	
																	議長	賛成多数
議案第26号	専決処分事項の承認について(令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第27号	令和元年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	賛成多数	認定
議案第28号	令和元年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	賛成多数	認定
議案第29号	令和元年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	賛成多数	認定
議案第30号	令和元年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	賛成多数	認定
議案第31号	令和元年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	賛成多数	認定
議案第32号	令和元年度鹿島市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	賛成多数	認定
議案第33号	令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第34号	令和2年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第35号	令和2年度鹿島市下水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
意見書第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 ※・・・監査委員のため審議に参加できない



鹿島の風景～北鹿島の稲穂～



鹿島の風景～新浜大橋から～



鹿島の風景～七浦飯田漁港～



鹿島の風景～中木庭ダム～



# 議案審議

議案第27号

令和元年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について



松尾 征子議員

質問 10月からの消費税の10%への値上げが、市の財政にどのような形で

現れたのか。また、市民の暮らしにどのような影響が出ていると思われるか。

質問 答弁は驚き。コロナの前、年末、年始にかけて市民は大きな打撃を受けている。市は市民の声を全く聴いていない。市は市民の声を聴き、状況をしっかりとつかまなくてはいけない。

質問 家めし、助かつ券、タブレット端末導入について

質問 家めし、助かつ券、タブレット端末導入について

質問 家めし、助かつ券、タブレット端末導入について

議案第27号

令和元年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について



池田 廣志議員

質問 広報運営事業について

質問 情報社会の中で、全国に向けて鹿島市の情報を発信するのに、公式ホームページが使いづらく、責任者もいないので、アクセスしやすいものに改編すべきと思うが如何か。

質問 市の公式ホームページは、7年前にコンパクトで使い易く、情報の入力が簡単に出来るようにと改編したが多様な事業に対応できて、社会情勢の変化に対応できるように内容を検討する。

質問 インフルエンザ予防接種費用の助成が今回新たに16〜64歳も対象となる。いつから実施するのか。

質問 インフルエンザ予防接種費用の助成が今回新たに16〜64歳も対象となる。いつから実施するのか。

質問 インフルエンザ予防接種費用の助成が今回新たに16〜64歳も対象となる。いつから実施するのか。

議案第33号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



稲富 雅和議員

質問 ウイズコロナ観光DX推進交付金とは、仮想空間による疑似体験参加ツアーの開催、オン

ラインによる地場産品の販売、肥前浜宿、祐徳稲荷神社、道の駅等の観光資源の魅力の発信と挙げている中、もちろん道の駅に足を運んでもらいたい、この機会にeコマースのネットショッピングができる体制づくりが必要だと思いが、考

えをお聞きする。質問 将来的にはこのシステムを拡充して、道の駅で販売されている地場産品等もインターネットで購入できるようにシステム体制を作れたらというふうに考えている。

議案第33号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



中村 日出代議員

質問 子供を見守る防犯カメラ設置事業

質問 どこに設置するのか。質問 鹿島小、明倫小、能古見小、古枝小、浜小、各校区に1か所設置予定。質問 地元の負担は。

質問 上限額が30万円、2分の1の補助。質問 川島金属に対する補助金について

質問 川島金属に対する補助金について

質問 川島金属に対する補助金について

質問 川島金属に対する補助金について

議案第33号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



徳村 博紀議員

質問 家めし、助かつ券、タブレット端末導入について

質問 家めし、助かつ券、タブレット端末導入について

質問 家めし、助かつ券、タブレット端末導入について

議案第33号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



杉原 元博議員

質問 インフルエンザ予防接種費用の助成が今回新たに16〜64歳も対象となる。いつから実施するのか。

質問 インフルエンザ予防接種費用の助成が今回新たに16〜64歳も対象となる。いつから実施するのか。

質問 インフルエンザ予防接種費用の助成が今回新たに16〜64歳も対象となる。いつから実施するのか。

議案第33号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



樋口 作一議員

質問 新型コロナウイルスの影響を踏まえた学習支援事業について

質問 新型コロナウイルスの影響を踏まえた学習支援事業について

質問 新型コロナウイルスの影響を踏まえた学習支援事業について

議案第33号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



伊東 茂議員

質問 コロナ対策事業、第4弾について

質問 コロナ対策事業、第4弾について

質問 コロナ対策事業、第4弾について



議案 審議

討論

議案第33号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



松尾 勝利 議員

■新型コロナウイルス感染症の影響に係る農業の支援策について

質問 国の「高収益作物時期作支援交付金事業」に前向きに取り組む生産

者に対し、鹿島市独自で10a当たり5千円の上乗せ支援を行う。補助対象者はどれ位か。また、国の事業の手続きは進んでいるのか。さらに、花き農家には県独自の支援策も予算化されているが、合わせて申請はできるのか。

答弁 対象者は700人を考えている。

国の事業申請は、J A は取りまとめ中、J A 系 統外は取りまとめが終わっている。県の事業との重複申請は出来ない。



議案第27号 令和元年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について

反対討論

松尾 征子 議員

当初139億6,100万円に7回の補正で、歳入151億6,085万2千円、歳出148億5,972万8千円、残3億112万4千円。年度途中消費税値上げ、コロナ問題などにより、市民の暮らしと経営は大幅に落ち込んだ。

予算は市民の要求に応じて、十分に消化すること。異常な積立金の切り崩しと借金に頼りながらの財政運営は大型事業優先が生み出したもの。

一方で無駄な支出の見直しはしない。同和団体に活動費丸抱えの402万4千円、スポーツ合宿誘致事業交付金5団体に438万8,960円、コロナ関係などで市民が打撃を受けている時、組んだ予算も十分使わず、無駄な見直しはしない。暮らし、福祉優先の市政を。



賛成討論

福井 正 議員

歳入は151億6,085万2千円、歳出148億5,972万8千円であり、3億112万4千円の黒字決算。主要歳入は市税30億7,469万5千円、地方交付税・特別交付税合わせて37億5,656万8千円。また、ふるさと納税6億2,832万2千円となっている。

また、公共施設建設基金から1億744万円、財政調整基金から4億2,800万円、ふるさと納税基金から産業振興、福祉保健医療充実などに計6,300万円繰入れ、総額6億7,591万円が繰入。

年度末基金状況は、決算剰余金から財政調整基金へ1億8,637万2千円、ふるさと納税から3億2,553万3千円繰入れで、計29億872万1千円となっている。歳出は民生費59億1,899万8千円、総務費24億4,988万9千円、土木費12億9,050万6千円等、計148億5,972万8千円、差引額は3億112万4千円の黒字である。よって令和元年度決算に賛成した。

一般質問

令和2年7月水害について



福井 正 議員

質問一 鹿島市の水害被害状況は。

答弁 住宅全壊1戸、半壊3戸、部分損壊19戸、床下浸水68戸、土砂災害6戸、農地305ヘクタール、国道道路28か所市道83か所通行止め。

質問二 鹿島市の土砂災害対策は。

答弁 危険箇所527か所あり、平成28年から地元説明会をしてきた。今後10戸以上の地区は県で整備、5〜9戸は市で整備する。

質問三 鹿島市の内水氾濫の可能性と、大雨時排

水ポンプを停止する基準と理由は。

答弁 鹿島市の河川は有明海から海水遡上時に大雨時に堤防の危険水位に達する可能性がある。堤防決壊を防止するため、ポンプを停止する。

質問四 7月豪雨と台風9・10号時に多数の方が避難所に避難されたが、定員オーバーでなかったのか、また避難所の間仕切りができたのか。

答弁 台風10号時「かたらい」には400名近くの方が避難され、密な状態であった。台風時であり他の避難所に移動困難であった。間仕切りは発注していたが、現物が届いておらず、できなかつたが、現在は用意できている。

鹿島市の新型コロナウイルス感染症対策について

質問一 コロナ禍は鹿島市の飲食・観光などに多大な影響がある。飲食店には「家めし」などの施策に取り組まれた。観光業にはGOTOキャンペーンなどがあるが、鹿島市の観光業への支援策は。

答弁 5月にマイナス95%だった。インバウンドもゼロであり、困られている。GOTOトラベルやクーポンの効果で観光客が来られると思う。観光業も登録してもらいたい。

質問二 鹿島市で新型コロナウイルス感染症が発生した場合パッシングや誹謗中傷が予想される。その事象へ市長の考えを示してほしい。

答弁 あやふやな情報を信じて、感染者の特定をすべきでないし、職場などへの非難はすべきでない。正確な情報に従って行動してほしい。

消費税増税、新型コロナウイルス感染症、豪雨、台風などによる大幅収入減の対策について



松尾 征子 議員

質問一 消費税増税、コロナ、猛暑、豪雨、台風などにより大幅な収入減で大変な状況。一方、生活費については大幅に増えている。光熱水費など公共料金は大幅に増え、市に払う固定資産税を始め税金等どうして払ったらいいかと心配されている家庭は多い。「相談窓口」を作ってもらいたい。

答弁 相談の窓口は、それぞれの関係部署にある。電話をしてもらうか出向いてもらえばいつでもいい。

質問二 知らない市民が多い。もっと情報を流すこと。情報の徹底が一番大事。

答弁 すでに市報やホー

ムページ、回覧などでこれまで情報は流している。流し方については、今後市民へお知らせの仕方を考える。

鹿島市役所内にあった「佐賀銀行ATM」について

質問一 市役所庁舎内に設置されていたATM(現金自動預け払い機)が突然撤去された。この責任で設置され、なぜ撤去されたのか。

答弁 佐賀銀行の依頼により銀行の責任で設置された。撤去については、昨年からの話があつていた。市は撤去を考え直してほしいとお願した。銀行は長期見直し経営計画が策定され、ATMの見直しや、利用件数の減少などもあり撤去した。

質問二 庁舎近くの高齢者は年金の受給に、近く職場のある働く人たちは、平日の昼休みに利用できるので利用されてい

た。「また設置を」と声が出るのは当然のこと。佐賀銀行との取引はあり、文字通り公の金融機関といえるもの。撤去理由を聞けば、銀行の都合と、銀行の利益のために利用者のことは考えない。「自分たちが儲けさえすれば利用者はどうなっても良い」というこれまでの国の政治と変わらない考え。許すことはできない。市民の立場に立って元に戻すように要求すべき。

答弁 ATMについては、続けるように言ってきたが、結果的にこのようになつた。全体的な問題であつて、鹿島市だけに元に戻せというのは難しい。どんな代替えが出来るか考えなくてはいけない。

一般質問



一般質問

7月豪雨の被害状況と対策について



杉原 元博 議員

質問一 7月豪雨の被害状況を、農地・農業用施設・道路・家屋等について質問する。

答弁 農地は田81カ所と畑289カ所の計370カ所。農業用施設は水路等167カ所と農道103カ所の計270カ所。道路災害発生状況は路線数30路線、被災箇所83カ所。家屋等の被災状況は全壊1件、半壊3件、準半壊2件、一部損壊が18件など。

質問二 今後の復旧について簡潔に答弁を。

答弁 農地・農業用施設の復旧で、事業費が40万円未満の箇所は、地元の方々の協力を得て、市単独の重機借り上げで対応。激甚指定箇所の復旧工事

は来年1月から施工予定で、3カ年間の復旧工事実施となる見込み。

質問三 コロナ禍での避難状況と今後の避難所設置・運営について聞く。

答弁 想定以上の避難者が来られた場合、ソーシャルディスタンスが保てなかった。被災先例地等の情報収集、国県との連絡、市民の意見等も踏まえ、各種課題にスピード感をもって対応に努めていく。

質問四 鹿島市防災マップが完成し、全世帯に配布されたが、市民に浸透していない部分が見受けられる。周知などの対応をすべき。

答弁 今まではコロナ禍で研修等も行っていないかったが、今後は出来る限り周知に努める。

ICT活用教育について

質問一 ICT活用教育を推進することで、どのような教育効果・成果が得られるのか。

答弁 子ども達の興味や関心の喚起を行い、各自のペースで学習を進め、知識・技能を修得することが出来る。共同学習の面でも、他者と協力し、学習に取り組むことが可能となる。

質問二 コロナ禍で注目度が高まった遠隔教育について、市の考え・取り組みを聞く。

答弁 一斉休校のように、学校に集まることが出来ない場合のオンライン授業や、海外の学校との交流活動、学校外の専門家によるインターネットを活用した講義など多くの可能性が考えられる。

鹿島市国土強靱化地域計画について



中村 日出代 議員

質問一 この計画の策定趣旨は。

答弁 大規模自然災害等に平時から備え、強さとしなやかさを持った安全・安心な地域社会を構築するために策定した。

質問二 鹿島市の災害に弱い所は。

答弁 水に弱いのが、公共事業等で改善している。質問三 国の46の補助金、交付金の事業があるが、この制度を利用した事業計画は。

鹿島市の総合計画について



松尾 勝利 議員

質問一 今年は第6次総合計画の最終年になる。令和元年度までの事業の進捗状況とこれまで実施してきた事業の成果は。

答弁 令和元年度末で79%の進捗率であり、おおむね順調に取り組んでいる。実施できた事業は、放課後児童クラブの施設整備、子育て総合相談センターの設置、定住促進では、中村市営住宅の完成、安心・安全では新世紀センター、防災情報伝達システムの整備などが挙げられる。

質問二 第7次の総合計画の策定にあたり、特に留意した点は。

答弁 近年多発する大規模な災害や新型コロナウイルス感染症防止などを

第6次鹿島市総合計画について

質問一 総合計画は市のすべての活動の根拠となる最上位の計画とされているが、市民への広報活動はどのようにしているのか。

答弁 広報「かしま」を各世帯に配布、またホームページに掲載している。

質問二 総合計画の教員の資質の向上と指導力強化による学力の向上。この中で資質の向上についての項目。計画的、実践的な校内研修についての研修課題と回数は。

答弁 一定の教科をテーマに決めて各学校で月1回か2回授業を中心に実践している。

令和2年の大雨・台風時における災害対応について

質問一 7月の大雨災害時は各排水機場で長時間稼働してもらい、被害が最小限に食い止められた。ただ、河川の氾濫危険水位に達した時はポンプの運転を止めるようになっていたが、一方で内水氾濫の危険性が増す。このような時の対応はどうか。

答弁 水位が増し堤防が決壊すれば、家屋の流失などが想定される。ポンプの停止を容認するわけでは

念頭に災害に強いまちづくりを施策の基本的な考え方に加えている。また、計画期間が1年ずれていった「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策と一体的に策定することで、地方創生の考え方と総合計画の関連をより分かりやすく表現するようにしている。

質問二 台風の避難者はこれまでで一番多かった。避難所の開設準備は充分に出来ていたか。また、福祉避難所等の要望もあっているのか。検討してもらいたい。

答弁 避難者が予想以上に多かった。福祉避難所などの開設も含め今回の状況を検証し、今後対応を考えていく。



北鹿島の土井丸排水機場

一般質問

令和2年七月豪雨災害について



中村 一堯 議員

水害時に使用した水道料の減免について

質問 7月豪雨災害により祐徳神社商店街をはじめ多くの家屋や店舗に土砂が流入した。土砂の撤去や清掃作業にはたくさんボランティアの皆さんに活動していただき早期の復旧につながった。

その復旧の過程で災害時に使用した水道代を免除して欲しいという声をいただいた。

昨年佐賀豪雨では武雄市、小城市などが災害に要した水道代は減免や一律補助があった。激甚災害があった県外の自治体でも水道代の減免は多くの自治体で行われている。

鹿島市でも同じように

昨年度の7月8月に比べて水道代が上がったところについては水道代免除を検討するべきだが、どう考えているのか。

答弁 家屋や家財の洗浄に多量の水を使った水道代を免除して欲しいという要望であるが、昨年の佐賀豪雨では県内9市で佐賀市、多久市、小城市、武雄市が実施されている。減免の実施方法は各市様々である。鹿島市でも減免の手続きができるのか現在検討中だ。

災害時の災害復旧事業費について

質問 災害対策として市独自の重機借り上げの費用を1集落50万円以上で集落50万円以上で上限に達した集落も出てきている。その上限を撤廃し、様々な費用に使えるように増額してほしいが、市の対応はどうか。

答弁 集落によっては50万円の補助金を既に使用されたところもある。いろいろな要望書でこの上限50万円の撤廃の声が多かったため、今後は上限50万円を撤廃し、被害の大きかった集落で使いやすいような重機代や原材料費などで使用できるようにしていく。

中木庭ダムや浜川改修について

質問 佐賀県が所管する中木庭ダム内の土砂崩れや河川護岸の崩壊は、いつごろから復旧する見込みなのかご答弁を。

答弁 中木庭ダムは早ければ10月末に工事を発注し、来年3月までには工事を終わらせる予定である。河川改修については来年度の取水期までには工事を終わらせる予定だ。

一般質問



一般質問

令和2年7月豪雨災害復旧及び  
浜川改修事業の推進について



中村 和典 議員

質問一 7月豪雨による農林及び土木の被害状況は。

答弁 農地で370件、8億730万円、農業用施設で270件、3億8千490万円、林道で12件、1千350万円、林地で13件、1億6195万円、市道で30路線、被災箇所は46箇所に入った。

質問二 このうち今回、国の災害復旧事業の申請予定件数と金額は。

答弁 農地・農業用施設で312件、6億8090万円、林道で2件、1千万円、市道18路線46箇所、1億5千470万円を見込んでいます。

質問三 今回被害が最も甚大であった浜川を中心とした河川及び道路の被災状況は。

答弁 現在、測量・設計業務は外部に委託をされており、市の積算業務が終わった所から10月から12月までに災害査定を受け、その後、その後、補助率を崇上げするための増崇申請を行い、来年1月か

ら3か年の予定で災害復旧工事を完了したい。

質問六 浜川改修事業は、事業が始まってから40年になるが遅々として進んでいない。現在の進捗状況及び今後の予定は。

答弁 全体計画3千330mの約37%の進捗率である。海苔の漁業期間との制約等もあったので今年には漁協と話し合いを行い工事期間の延長をお願いした。今後は、鹿島市の公共土木事業の重点事業として、県や国に対して積極的に要望活動を行っていききたい。



令和2年7月豪雨により決壊した浜川の  
上古枝橋右岸付近

人口減少社会における中長期的な  
まちづくりについて



池田 廣志 議員

質問一 我が国では、急激なスピードで、「人口減少」と「少子高齢化」が進み、鹿島市でも将来を託す幼少期の子供の減少幅が大きくなる中、仕事をしながら子育てされているお母さんに鹿島市が作った子育て資料「てとて」が届かず、悩みながら、子育てされているという現状がある。

一人でも多くの子供が幸せに育つため、この資料を子育て中のお母さん全員に渡すべき。

質問二 市独自の子育て支援策は。

答弁 市は高校生の医療費無料化を実施し、子育て支援センターでの各種事業を中心に取り組んでいる。「結婚新生活支援事業」は国の事業なので、内容を調査し、対応したい。

質問一 今年7月豪雨では、ダムの無い大小20河川以上で越流した。中山間地域を含め、市内各河川の災害対策として、上・中流域の水田の保水能力を高めるため、畔上を現状よりも15cm程度高上げた耕作者に防災対策協力金を交付する。



市内各所で越流した中小河川

自然災害による被害と山林の有効活用について



樋口 作二 議員

質問一 七月豪雨により塩分濃度が低下した有明海で、魚介類への被害はどうだったのか。

答弁 サルボウ(赤貝)、カキ、アゲマキは、真水に近い状態が長期間続いた海水の影響で多くが死滅した。クラゲもかなり沖合に出ないと漁ができなかった。

質問二 豪雨による被害に、森林の適正な管理は影響があるのか。

答弁 林地被害は13か所、1・93畝で、被害額は1億6195万円と見込んでいる。森林は、植栽後間伐等により適正に管理されることにより崩落防止機能が向上するので、防災の観点から森林の適

正管理は必要不可欠のものと考えている。

質問三 森林の所有割合や天然林と人工林の区別はどうなっているのか。

答弁 国有林面積は24・39%、公有林が2・26%、私有林が70・41%となっている。天然林は、森林面積の22・53%で、人工林は71・04%である。

質問四 鹿島市所有林の管理状況はどうなっているか。

答弁 下刈りやツル切り、間伐を適正に行い、スギやヒノキのほとんどが伐採可能な成木となっている。

質問五 七浦地区振興会による矢答展望所の運営のような森林を活用した取組はあるのか。

答弁 能古見地区振興会の中木庭ダム周辺の植栽管理や早ノ瀬のやまびこ活動組織、大木庭の里山を守る会などの活動がある。



矢答展望所

鹿島市の地域課題について



松田 義太 議員

防災の取り組みについて

質問 7月の集中豪雨、台風10号では、多くの市民が避難所に避難し、また、ホテル等にも自主避難された方がおられたと聞いている。今回の避難所開設の判断基準及び各避難所の新型コロナ対策の課題についてお伺いする。

答弁 市民交流プラザかたらいで密な状態がうまれたことは反省点であり、検温や消毒などを行ったが、ソーシャル・ディスタンスを保てなかった。今後、避難場所の分散化等検討を行ない、引き続き災害対応のレベルアップを目指していきたい。

地域医療を支える  
人材育成

質問一 新型コロナウイルス感染症のみでなく、今後新たな感染症対策を含め地域医療の重要性が高まる。5年、10年後を見据え地域医療を支える人材育成のために、市内にある看護学校及び学生への支援を検討してもらいたい。

答弁 地域医療の重要性は理解している。今後、どのような支援が出来るのか検討したい。

質問二 佐賀県は、介護職等を目指す県内高校生への実習費等の助成を昨年から行っている。又、鹿島市においては、主催する企業説明会に看護学校が参加するなど色々な取り組みが考えられると思うが、担当課の見解は。

答弁 それぞれの事業を参考にしながら、早急に対応していきたい。

道路整備について

質問一 一般県道山浦・肥前鹿島停車場線(横田)整備計画の進捗状況についてお伺いする。

答弁 用地の測量が終わり、今後家屋の価格調査が予定されている。令和5〜6年度完成予定である。

質問二 横田公民館からの水路並びに排水対策についてもしっかりと取り組んでもらいたい。

答弁 整備計画に水路等対策も講じられている。



県道と横田公民館

一般質問



# 決算審査特別委員会委員長報告

去る9月11日の本会議に付託された議案第27号から議案第32号までの6議案については、9月17日、18日、24日、25日の4日間にわたり決算審査特別委員会を開催し慎重に審議を行った。

まず、17日に議案関係7か所の現地調査を行った。

- ①庄金防災公園整備事業、②浜漁港新浜大橋主塔部補修工事、③北鹿島小学校放課後児童クラブ新築工事、④古枝小学校校舎大規模改造2期工事、⑤市内小中学校空調設備工事（H30繰越）令和元年度分、⑥新久保山配水池築造工事、⑦自然の館（研修棟）屋根他塗装工事
- 18日より市長、副市長、教育長、担当課職員出席のもと、審査に入った。

企画財政課から令和元年度の決算状況と主要施策の成果説明

- 一般会計は、歳入151億6085万2千円、歳出148億5972万8千円、差引3億112万4千円の黒字決算。
- 公共下水道事業特別会計は、歳入18億6513万7千円、歳出18億2140万2千円、差引4373万5千円の黒字決算。
- 国民健康保険特別会計は、歳入38億187万5千円、歳出37億7984万3千円、差引2203万2千円の黒字決算。
- 後期高齢者医療特別会計は、歳入4億1887万7千円、歳出4億1843万7千円、差引44万円の黒字決算。
- 給与管理特別会計は、歳入19億5275万3千円、支出額も同額。
- 水道事業会計は、総収入5億3406万4千円、総費用4億1586万4千円、差引1億1820万円の黒字決算。

## 監査委員から7議案について一括して概要報告

「審査に付された歳入歳出決算書及び同付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、係数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。

また、予算の執行については、歳出の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の施策が推進されており、各会計とも予算計上の趣旨に沿って適正に処理されていた」と報告を受けた。

説明後、直ちに審査に入り、本委員会に付託された6議案に対し、各特別委員から多項目にわたる質疑があり、質疑終了後に、討論・採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定することに決した。

決算審査特別委員会委員長 徳村 博紀

## 決算審査特別委員会 日程

- 9月17日 午前10時開会、主要成果説明書の概要説明、決算審査の概要報告、現地調査箇所事業概要説明。午後より現地調査7か所
- 9月18日 午前10時より終日。一般会計歳入歳出決算認定について質疑（教育委員会、市民部、産業部ほか）
- 9月24日 午前10時より終日。一般会計歳入歳出決算認定について質疑（総務部ほか、建設環境部）
- 9月25日 午前10時より終日。特別会計4議案一括質疑。水道事業会計 質疑、議案第27号から議案32号の一括討論、採決。



新浜大橋の現地調査

## 災害発生時の市民と行政の危機管理について



伊東 茂 議員

質問一 市民生活に甚大な被害をもたらした7月豪雨、大型台風10号と多くの市民は命を守るために自主避難をされた。

しかし、避難所でのコロナ対策（密閉・密集・密接）は十分とは言えず、危機管理の甘さに不安を覚えた。災害対策本部は市民の安全を守る周到な防災行動計画を策定したと断言できるのか。

答弁 大雨、台風など接近72時間前からの防災計画は準備した。対策本部には職員が常駐し、気象予報等の情報収集、避難所への職員配置、防災備品の配布を行った。想定外の災害も増え、今後、防災計画の見直しも検討する。

## Withコロナ時代の本市の対応について

質問一 国内に於ける経済の低迷下を打破するため政府は経済対策として各種GOTOキャンペーンを実施した。

本市の経済活動の再開基準と国内キャンペーンをどのように有効活用し、観光業・飲食業の活性化に繋げていくのか。

答弁 本市の経済活動の再開は国・県のコロナ対策方針に従い行う。市内発症者ゼロは市民の感染症対策の徹底によるものと感謝している。国内キャンペーン実施に向け、加盟店募集と説明会を行い、多くの市内店舗を利用して欲しい。加えて、第2弾の「家めし券」を計画しており相乗効果を期待する。

## 第7次総合計画策定に向け行財政改革を

質問一 今後5年間の本市の将来像、計画実現の

ためのまちづくりの基本的方向性を示す最上位の計画が総合計画である。

本市は自主財源（市民税等）に弱く、一般会計歳入の約6割を国・県からの財源に頼っている。基金の取崩しも増えている状況を考えてより更なる行政改革に取り組み必要を感じる。

答弁 第一、第二次行財政大綱を平成18年より平成27年度まで取り組み一定の成果を挙げたと考えている。

現在、「まちづくり」「事務改善」「財政運営」の3つの視点で「行財政改革プラン」を策定し、毎年、見直しも行って



キャンペーン

## 市民会館建設について



勝屋 弘貞 議員

質問一 本体の建設の入札が不発となった。アイデアやデザインがどんなに良かろうと、予算内で完成させるといことが大前提。これまでの経緯、不発となった要因、今後の取り組みは。

答弁 5月29日に公告、7月7日と14日に開札を行ったが、本体の建設工事が予定価格超過で不発となった。鉄骨加工・組み立て費用の高騰、職人の不足により全国的に多くの入札が不成立となっている。

地方都市における開発が非常に活発で、隣県・県内においても大きな建設事業が行われており、それらが影響したと考えられる。

遅れが出ていることもあり早急に再入札を行ない、全体の経済性・有効性を検証・精査をした上で10月いっぱいにとりまとめ、庁議を経て議会に報告をする。

質問二 市庁舎・エイブルは雨漏りに悩まされ、その補修に多額の予算が費やされてきた。

全員協議会での代表の説明では、さも自分の作る建物ではそのようなことはないような物言いだったが、建設を生業とされている方々から「新市民会館の設計はひび割れが入りやすい構造で雨漏りをするような建物を作ってくれというようなもの」という意見を複数聞く。

円形の建物の壁をなすカーブしているガラスが作れる企業は限られており、もし破損等があった場合にはすぐに修理ができないということも聞いた。

建築後にお金がかからないような建物を作るという考えで取り組むべきでは。

答弁 市からも雨漏り対策についてはしっかりとお願いしてきた。設計事務所からは屋根の形状を変えることで雨漏りの対策を検討するという回答をもらっている。



市民会館完成模型（エイブルホールに展示）



## 文教厚生産業常任委員会

### ■商工会議所との意見交換会（市内産業の状況について）

と き 令和2年7月1日（水）午後2時～

ところ 全員協議会室

出席者 【鹿島商工会議所】（会頭）森孝一、（副会頭）愛野時興、栢森久、（専務理事）有森滋樹、（監事）池田健一、（常議員）植松信安、鶴田利浩、成松豊隆、平川直樹、高木明、光武博之、森千枝子、矢野善紀、山口健次郎

【鹿島市議会】中村一堯委員長、杉原元博副委員長、中村日出代、中村和典  
勝屋弘貞、松尾勝利、角田一美

### 【主な意見について（一部抜粋）】

#### ■鉄鋼業等

自動車産業、航空産業などが大きな影響を受けている。海外へは人が行けないので、物を輸出しても据え付けに行けなくて困っている。

#### ■観光業や旅行業

観光業への影響は特に大きい。観光バスが大幅に減少し、昨年に比べると月に20%減、3月は80%減、4月からは団体利用が消滅した。6月は昨年比で97%ダウン、7～8月も90%以上落ちている。この先、海外旅行とはならないだろう。GOTOキャンペーンによる個人旅行の増加に期待している。

#### ■金融業&銀行

ここ3ヶ月、4市3郡で60億円を融資している。心配なのは、返済時期が到来したときに会社が返済できるのかということ。返済不能となっても保証協会は8割までしか見てくれない。残りの2割は、金融機関が被ることになる。非常に心配だが、地元企業が存続できなければ、自分たちも地元金融機関として存続できなくなることを考えれば、融資せざるを得ない状況である。

#### ■飲食業等

昨年に比べると3月は、6割ダウン。4月は、8割から9割ダウン。6月は例年の3割程度。市の経済対策でやってもらった「家めしキャンペーン」は確かに助かったと思う。できれば、もっと続けてほしい。

#### ■アパレル服飾業

今回ダメージを受けたのは、観光、飲食、そしてその後がアパレル業界になっている。服が売れないのは、休みが増えて、買う必要がないことやメンタル的に買い控えが起こっていると思う。

#### ■酒造業

酒類の販売は、4～5月は半減。6月は7割程度まで戻ってきている。原因は、飲食店の経営不振。鹿島も厳しいが、温泉地の武雄、嬉野の落ち込みの影響が大きい。

#### ■土木建設業

土木工事に関して、民間・公共事業ともに影響は少ない。屋外での作業が多いので三密もない。ただ、今後税収減が見込まれることから、来年度以降の公共事業に影響するのではないかな。

#### ■清掃業

業務にあたっての消毒液、マスク、防護服が別途必要になり、経費が大幅にかさんでいる。

#### ■その他の分野（市内税理士のご意見）

- ・農業は、玉ねぎ農家が厳しい。学校給食が減ったことも影響している。
- ・医療機関は、小児科や耳鼻科が4割収入減、内科も3割減。新型コロナウイルスで、患者が増えると思っていたら逆に減った。医療器具もダウンと聞いている。

### 商工会議所から鹿島市へ提言された課題

- 支援策で大切なのは、タイミングとスピード。
- 6月の常議員会で話し合った買い物クーポン券の利用が実施されるまで2ヶ月もかかったのは遅すぎる。
- 今、コロナ移住と言われている。移住支援サイトなどを活用して、20代～40代までの人を東京から地方へ誘導してはどうか。
- 財政の話は分かっているが、コロナの問題で個人的には第2波が来ているとみている。国民の大半は、収束に向かっていると思っているが、出口は見えない。出口前の対策で第4弾が必要。
- 中小企業がつぶれていく中で、都市集中に向かうのではないか。地方から人が流出する。
- 今後も持続して支援しないと倒産する企業も増えるだろう。
- ワクチンができて、コロナの収束まで何とか税金をつぎ込んで耐える必要がある。その意識を醸成してほしい。
- 支援策の中に家賃の補助があるが、鹿島のような田舎で効果があるのか。都会ならメリットが大きいと思う。
- 市の独自の対策としてお願いできるものはないか、同業者と話したが、水道代や下水道使用料の負担が大きいので、補助や減免がお願いできないかという話になった。支援しないとダメ。鹿島市に住みたいと思われるように。
- 市民の意見を議員は、分かっているのか。苦しい市民の意見を聞いて欲しい。

### 【鹿島市議会の対応】

商工会議所との意見交換会で出た意見や提言を基に、鹿島市議会で市執行部との会議を設け、市内の経済状況や経済対策について議論を行った。また鹿島市議会から議員提案の意見書を提出し、鹿島市独自の対策について強く要求した。





## 総務建設環境常任委員会

今年度に入り、新型コロナウイルス感染症予防対策や、県境をまたぐ人の往来・交流が制限されたこともあり、鹿島市内団体との意見交換会を委員会として行いました。

### 1. 鹿島商工会議所との意見交換会について

実施日：令和2年8月5日（水） 午後2時～

【鹿島商工会議所】（会頭）森孝一、（副会頭）栢森久、（専務理事）有森滋樹、（顧問）織田喜六、（常議員）植松信安、桂城清、鶴田利浩、土井敏行、中島雅人、成松豊隆、花島光喜、高木明光武博之、森千枝子、山口健次郎

【鹿島市議会】稲富雅和（委員長）、樋口作二（副委員長）、池田廣志、伊東茂、徳村博紀、松尾征子、松田義太、〈オブザーバー〉福井正、勝屋弘貞、角田一美



### 【主な意見について（一部抜粋）】

#### ●有明海沿岸道路について

- ・道路局長のところに行くが、よく言われるのは何のために道路を作るのかということをよく言われる。
- ・熊本は沿岸道路が熊本地震の時に活躍した。
- ・鹿島は昨年の大雨の時に長崎自動車道がストップして孤立した。でも有明沿岸道路のお陰で物流ができた。災害復旧のためにも必要。
- ・道路整備は政治力、要望活動していかないと成就しない。市議会、県、商工会議所一体化して要望活動を行っていく必要がある。
- ・議会、行政だけの要望ではダメなので商工会議所、官民一体となって要望していかなければならない。
- ・理由づけについては、有明海沿岸道路は、有明海を取り巻いてこの地域の経済力を上げていこうということ、計画区域だけで人口100万人いる。
- ・福岡県側が出来上がっているので恩恵を受けており、予想の1.5倍くらい通行車両が増えている。
- ・それを見て福岡は4車線化、熊本は自分のところまで伸ばしてほしいと言いつけている。
- ・佐賀も負けずにやりたい。
- ・軟弱地盤を工事する中、今の工法が正解なのか、工期も10年で終わるのか不安である。
- ・鹿島側は工法を変えられ、杭の長さも変わっており、底盤の厚さも1.5倍くらいになっている。試験盛土をやってゴーサインを出している。
- ・熱心さが大事であり、鹿島市議会も商工会議所、県議会と足並みを揃えて要望していきたい。

#### ●国道498号について

- ・理由づけも明確にして、「鹿島の為に」というのではなく、避難の為であるのかとか太良も含めた地域の為とかいう言葉の表現にしていく必要がある。
- ・商工会議所としては498号が一番の要望事項と捉えている。
- ・知事からも何のためにこの道路があるのかを鹿島から明確に提案してもらいたいと話があった。
- ・市議は嬉野市議団と話されていないのか。
- ・嬉野市議会議長、副議長も観光含めて一緒にやっていかないと一つの市でやっていける時代ではなくなっている、協力したいと言われた。

- ・防災の面では伊万里の避難に道路一本では厳しいことから急いでもらおう。
- ・太良町長も鹿島とは運命共同体と思っている。
- ・お互い議会同士でも意識合わせをやってもらいたい。

#### ●国道207号について

- ・4車線が完成したら地元でお祝いのセレモニーをしてほしい。
- ・旧道は全部市道になる訳ではなく、市役所から先のところまで県道、その先が市道になる。
- ・西葉ガードレール拡幅、母ヶ浦の橋架け替えまで25億の事業となる。事業認可はおりている。

#### ●JR肥前鹿島駅周辺整備について

- ・ホームまで距離もあるので駅舎をずらすということ、駅の裏側が死んでいる、国道からのつながりがない、ロータリーが道路なのに4列駐車して危ないので周辺も含めて考えていかないといけない。
- ・祐徳ビル、周辺地域の方にも入ってもらい提案書の作成をした。旭鉄工までの地権者とも相談をした。
- ・全ての面からみて大きな提案となった。
- ・女性の意見もたくさん入っている。
- ・伊万里駅のようにせめて旧207号から見えるようになったらいい。
- ・鹿島駅に降りた時にどっちに行けばいいのかわからないので、大田尾建設を通して207号バイパスに出ているところに行けるようになればいい。
- ・エリアをどう考えるかは駅前周辺整備をしていく上では大切と考える。
- ・駅舎は鹿島市の玄関口となる訳で、初めて来た方が、表示物がなく、どこへ行ったらいいかわからないということがあつた。スマホがあるはずだが、年配の方を中心に未だにバス停の場所を聞かれる。
- ・鹿島駅は、6時から7時ぐらいは車が10台くらい同じ方向を向いて停まっている。駅前全部を変えるには時間がかかるので、とりあえず、きっかけづくりとしてやってみて、それから切り込んでいくということも考えられる。
- ・都市計画で早く決めて要望活動しないと、新規で県道を延ばすということは中々難しい。
- ・鹿島駅については、在来線の利便性を高めると同時に駅の利便性を高めないといけない。

#### ●市全般について

- ・大きなイベントが中止になるとその影響で店のキャンセルがすぐ出る。
- ・公共イベントが中止になるとその波及がどれだけ出るかということを考えてもらいたい。
- ・小さくなくてもいい。やれる方法を考えてもらいたい。
- ・魚屋、八百屋みんな影響を受けている。
- ・鹿島の酒蔵は、4、5月は半減し、全国の中でも悪かった。
- ・鹿島の酒蔵は外（海外）にどんどん売っていたので影響が大きかった。
- ・酒米の契約農家の作付けの問題も出てきている。酒造組合と経済連（農協含む）との最終調整中である。
- ・防護服の手配や講習、防護服での汲み取りに時間がかかり、大変であった。その職員は、消毒後、会社によらず帰ったが、職員の奥さんが医療従事者であったことから車中泊するということがあった。
- ・市内感染があつたときは、汲み取りも大変になる。  
意見交換会を踏まえて国道498号、湾岸道路、駅前整備の3つの問題は、会議所は会員の方を、市議会議員の皆さんには市民を盛り上げて、市民が、これが必要だという意識を立ち上げてほしい。
- ・鹿島市、隣の市一緒になって取り組んで、議会、商工会議所同じ方向で提案していきましようと思いをあらたにしました。



意見書  
第3号

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。

これにより、地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

また、地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財源不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

### 記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものであるため、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年10月7日

佐賀県 鹿島市議会

### 【意見書提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、  
総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、  
まち・ひと・しごと創生担当大臣

## 要 望 書

### 【鹿島市議会から市長に対し要望書を提出しました】

令和2年9月11日

鹿島市長 樋口 久俊 様

鹿島市議会災害対策会議  
鹿島市議会 議長 角田 一美

### 令和2年7月豪雨による災害復旧に関する要望書

令和2年7月豪雨による災害は、本市にとって甚大な被害をもたらしましたが、執行部におかれましては、今日まで災害状況の調査、復旧などに尽力しておられますことに敬意を表します。

さて、このたびの災害について、私たち議員も被害状況の調査等を行い、被災者や地元の方々から災害復旧に関して切実な要望を伺っております。

つきましては、これら地元の要望等も踏まえ、鹿島市議会災害対策会議で協議した事項について、下記のとおり要望します。

### 記

- 1 農地・農業用施設の災害復旧に特例対応として支出する重機使用料及び原材料費については、1集落あたり50万円が上限とされているが、被災箇所が多い集落にとっては、多額の災害復旧費用を要することになるため、必要に応じて重機使用料等の上限額にかかわらず柔軟に対応すること。
- 2 農業用施設等の災害復旧に要する労務費については、農地多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払制度により地元で負担することとされているが、災害の規模が大きく、通常の維持管理分で賅えない場合は、災害復旧のために増加した労務費を市の支援の対象とすること。
- 3 市内河川の頭首工に設けられた堤外水路については、大雨の際、毎回、地区住民が流入した土砂等を除去しているが、大規模な土砂流入があった場合は、地元の負担が大きくなるため、市で除去を支援するなどの対策を講じること。
- 4 今回の豪雨による河川の被災箇所等については、今後、土木事務所により復旧工事が実施される予定であるが、来春の農作業に支障が無いよう、迅速な工事の実施について市から働きかけを行うこと。
- 5 被災状況については、区長から市への報告により把握されているが、小規模な被害等についても報告漏れが無いよう区長への周知徹底を図り、被災状況の的確な把握に努めるとともに被災者には必要な措置を講じること。



# 議会あれこれ (令和2年7月1日～10月7日)

## 7月

- 1日 文教厚生産業委員協議会
- 3日 杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時会
- 6日 議会だより編集委員会  
鹿島市議会災害対策会議
- 8日 鹿島市議会災害対策会議
- 13日 議会だより編集委員会
- 16日 ICT活用推進プロジェクト 先進市議会視察
- 22日 鹿島市議会災害対策会議
- 29日 鹿島市議会災害対策会議  
7月豪雨被災地 現地調査
- 30日 武雄市議会からの災害見舞金受領
- 31日 総務建設環境委員協議会  
佐賀県議会新幹線問題対策等特別委員会との  
意見交換会

## 8月

- 3日 多久市議会からの災害見舞金受領
- 5日 嬉野市議会からの災害見舞金受領  
ICT活用推進プロジェクト会議  
総務建設環境委員協議会
- 6日 鹿島市議会災害対策会議
- 7日 県知事・市町議会議長懇話会
- 17日 佐賀県市議会議長会からの災害見舞金受領
- 19日 議会運営委員会  
杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会
- 24日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会8月定例会
- 26日 全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 27日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会

## 9月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 9月定例会 開会 議案の上程(～10月7日)  
全員協議会
- 5日 鹿島市議会災害対策会議
- 10日 9月定例会  
議案審議 質疑、討論、採決(～11日)

## 9月

- 15日 公共交通対策特別委員会
- 17日 決算審査特別委員会(現地調査)
- 18日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 24日 決算審査特別委員会(一般会計)  
議会運営委員会
- 25日 決算審査特別委員会(特別会計・水道事業会計)  
全員協議会
- 29日 9月定例会 一般質問(～30日)

## 10月

- 2日 9月定例会 一般質問(～5日)
- 7日 9月定例会 委員会報告、  
質疑、討論、採決 閉会  
全員協議会

## 行政視察受入は、ありませんでした。

### 鹿島市議会 災害見舞金の受領状況(令和2年7月～9月)

- 7月30日 佐賀県武雄市議会 様
  - 8月 3日 佐賀県多久市議会 様
  - 8月 5日 佐賀県嬉野市議会 様
  - 8月17日 佐賀県市議会議長会 様
- 鹿島市議会へお見舞金を頂きまして誠にありがとうございました。議会として市民生活の安定と災害復旧に関し専心努力いたします。



## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	7月		8月		9月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	1	5,000	0	0	0	0	1	5,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	2,400	1	2,400
合計	1	5,000	0	0	1	2,400	2	7,400

## 令和2年度 かしま議会だより編集委員会

- 編集委員長 池田 廣志
- 編集副委員長 中村 和典
- 編集委員 伊東 茂
- 顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

## 編集後記

今議会では、7月豪雨と台風10号の速やかな災害復旧工事の着手と、避難所に避難された市民が新型コロナウイルス感染症対策で入場が制限されるなどさまざまな問題点が発生したため、これらの問題点を提起し、市の対応について議論を進めました。

また、今議会に決算審査特別委員会を立ち上げ、「令和元年度一般会計、公共下水道特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計」の事業等について審査し、慎重に審議を進めました。監査委員からの意見も聴取し、討論・採決の結果、原案どおり認定しましたので、この「かしま議会だより」にまとめました。

さらに、議員全員による「鹿島市議会災害対策会議」で協議し、市長に「令和2年7月豪雨による災害復旧に関する要望書」を提出しました。また、市議会では、令和3年度から始まる市の第7次総合計画の策定と市民会館建設、鹿島駅周辺の開発についての議論を進めています。

市民の皆さまからの意見をしっかりと市政に反映させるため、多様なご意見・要望をお待ちしております。